



Wakate News Letter vol 12

2009. 7. 9 発行

1. 活動報告

1) 若手イニシアティブ2009 下田フェスティバル

日時：2009年7月2日(木)～3日(金)

会場：下田臨海実験センター

7月2日・3日に下田臨海実験センターにて、若手フェスティバル夏2009が開催された。谷口俊介助教およびその研究室のメンバーが中心となって若手研究者と支援室が企画し、本プログラムからは若手研究者、研究員/研究補助員、支援室職員、計25名が参加した。西田宏記教授(大阪大学)、笹倉靖徳講師(筑波大学)による特別講演と、若手研究者および3月まで本プログラムに在籍していた永宗喜三郎主任研究員(国立感染症)による13題の口頭発表を行った。また、2日夜の懇親会ではセンター長の稲葉一男教授をはじめとするセンターの教職員や学生との交流を深めた。聴講者を含めた全参加者は47名であった。

2) セミナー (09年6月)

▽ 若手イニシアティブセミナー

第28回

日時：2009年6月5日(金) 14:00～

演者：藤原すみれ 博士(理化学研究所植物科学研究センター)

演題：タンパク質の分解・安定化による高等植物の概日時計制御メカニズム

会場：世話人 三浦謙治

3) 業績 (09年6月)

<原著論文>

Emil Avsar, Yoshitaka Hatta, Toshihiro Matsuo

'Soft gluons away from jets: distribution and correlation'

JHEP 0906 (2009) 011

T. Nagamitsu, H. Yamagishi, T. Kenta, Naoki Inari & E. Kato.

"Competitive effects of the exotic *Bombus terrestris* on native bumble bees in Japan revealed by a field removal experiment."

Online First. Population Ecology DOI:10.1007/s10144-009-0151-7

William E Kunin, Philippine Vergeer, Tanaka Kenta, Matthew P Davey, Terry Burke, F. Ian Woodward, Paul Quick, Maria-Elena Mammarelli, Nathan S Watson-Haigh and Roger Butlin.

"Variation at range margins across multiple spatial scales: environmental temperature, population genetics and metabolomic phenotype." (2009)

Proc. R. Soc. B 276:1495-1506

Rawlins E.L., Okubo, T., Xue, Y., Brass, D.M., Auten, R.L., Hasegawa, H., Wang, F., Hogan, B.L.

"The role of Scg1a1+ Clara cells in the long-term maintenance and repair of lung airway, but not alveolar, epithelium."

Cell Stem Cell (2009) 4, 525-534

<学会発表・招待講演> (09年6月)

The 17th International C. elegans Meeting

Rvusuke Niwa, Kazumasa Hada, Hiroshi Hasegawa, Masako Asahina, Yasunori Kanaho, and Frank J. Slack

演題：英語口頭発表 The nuclear hormone receptor nhr-25 is a heterochronic gene that has dual roles in both promoting and inhibiting C. elegans adult programs]

日時：平成21年6月26日

場所：University of California, Los Angeles, California, USA

The 17th International C. elegans Meeting

Kazumasa Hada, Hiroshi Hasegawa, Yasunori Kanaho, Frank J. Slack, and Rvusuke Niwa

演題：英語ポスター発表「Identification and characterization of novel heterochronic genes involved in the let-7 microRNA-dependent developmental timing pathway in *Caenorhabditis elegans*」

日時：平成21年6月24日～28日

場所：University of California, Los Angeles, California, USA

福田 綾, 中太智義, 嶋田美穂, 久武幸司

平成21年度 社団法人 日本生化学会関東支部例会

演題：口頭発表「RNA結合タンパク質による転写調節機構の解析」

日時：2006年6月20日

場所：つくば国際会議場

Kenji Miura

RIKEN Seminar

演題：英語口頭「Sumoylation in plant responses to abiotic stresses」

日時：2009年6月12日

場所：理化学研究所、横浜

Kenji Miura, Jiyoung Lee, Jin-Bo Jin, Chan-Yul Yoo, Tomoko Miura, Paul M. Hasegawa.

20th International Conference on Arabidopsis Research

演題：ポスター発表「Sumoylation of ABI5 by *Arabidopsis* SUMO E3 ligase SIZ1 negatively regulates abscisic acid signaling."」

日時：2009年6月30日～7月4日

場所：Edinburgh, UK

長谷川潤, 杉本里香, 山下美鈴, 野口純子, 岡田理沙, 鶴木隆光, 船越祐司, 馬場忠, 金保安則

第61回日本細胞生物学会大会

演題：(口頭発表、ポスター)「Requirement of Phosphatidylinositol 4-Phosphate 5-Kinases in Mouse Spermatogenesis」

日時：2009年6月2～4日

場所：名古屋国際会議場

4) 外部資金獲得状況 (09年6月)

田中健太

<若手ステップアップ支援経費 2009年度(平成21年度)>

「環境適応を担う遺伝子に働く自然選択の研究：シロイヌナズナ属野生種を用いて」

(H21 75万円)

田中健太

<統計数理研究所共同利用 2009年度(平成21年度)>

「シロイヌナズナ属野生種における、適応遺伝子の空間分布と環境勾配」

(183千円)

田中健太

<京都大学生態学研究センター公募型共同利用事業(研究会) 2009年度(平成21年度)>

「ゲノムと生態系をつなぐ進化研究—環境変動・集団履歴・適応」

(20万円)

5) 若手運営調整委員会よりお知らせ

○ 若手分子医学クラスシリーズ記録 (4月)

▽がんの生物学クラス (担当: 鈴木裕之)

- 第4回 6/6 Eternal Life: Cell Immortalization and Tumorigenesis
第5回 6/13 Multi-Step Tumorigenesis
第6回 6/20 Maintenance of Genomic Integrity and the Development of Cancer
第7回 6/27 Dialogue Replaces Monologue: Heterotypic Interactions and the Biology of Angiogenesis

今後の予定

7/11、7/18、7/25

▽ リガンド結合の定量的解析クラス (担当: Damien Hall)

第6回 6/6 * Practical: Building Your Own Model of Tissue Culture *

今後の予定

今期の「リガンド結合の定量的解析クラス」は全て終了しました。

▽ 分子・細胞医学クラス (担当: 長谷川潤)

第5回 6/6

- Selective erasure of a fear memory (Science)
- Use of tissue-specific microRNA to control pathology of wild-type adenovirus without attenuation of its ability to kill cancer cell (PLoS Pathol)
- Generation of transgenic non-human primates with germline transmission (Nature)

第6回 6/13

- AdPLA ablation increases lipolysis and prevents obesity induced by high-fat feeding or leptin deficiency (Nat Med)
- Ube3a is required for experience-dependent maturation of the neocortex (Nat Neurosci)
- Why peer discussion improves student performance on in-class concept questions (Science)

第7回 6/19

- Axon regeneration requires a conserved MAP kinase pathway (Science)
- Directed transdifferentiation of mouse mesoderm to heart tissue by defined factors (Nature)
- Ubiquitin and neurodegenerative disease (review)

今後の予定

7/4、7/11、7/18、7/25

2. スケジュール (09年7月)

2日(木) - 3日(金)

若手イニシアティブ 2009 下田フェスティバル

@下田臨海実験センター

2日(木) -

夏季休業

6日(月)

大学院推薦入試

9日(木) 11:00~12:00

振興調整費合同会議 @総合研究棟 D-115

12日(日) - 19日(日)

国際生物学オリンピック 2009

13日(月) 15:00~

第30回若手イニシアティブセミナー @下田臨海実験センター

15日(水)

大学院推薦入試合格発表

24日(金)

第1学期末卒業式 大学院学位記授与式

28日(火) - 30日(木)

大学説明会

3. 事務連絡

○ 委託業務成果報告書(冊子体)配布について

平成20年度の報告が完了し、冊子体として若手研究室をはじめ、大学本部、メンター等関係者に配布いたします。

○ 契約電力を超える恐れのある場合の空調の停止について

施設部施設環境課より下記の通知がありました。

今年度の冷房期間は6月25日(木)から9月11日(金)となっておりますが、夏季の電力負荷増大による契約電力超過のおそれが出てきた場合に限り、日中のピーク時に各建物の空調を30分程度を目安として、適宜停止させていただく場合があります。施設部で停止するのは、集中管理の空調になりますので、個別空調を施設部で停止することはありませんが、場合によっては個別空調も停止していただくように協力を要請する場合がありますとの事ですので、その場合は可能な限りご協力願いますとのことです。若手関係者の皆様、節電にご協力願います。

○ 筑波大学薬物乱用根絶宣言について

学長により宣言されました。

6月26日の国際麻薬乱用撲滅デーを契機に「筑波大学薬物乱用根絶」を宣言します。

学生諸君においては、今一度禁止薬物の危険性に留意し、健全な大学生活を送ることを切望するとともに、未来の自分を守るために「ダメ。ゼッタイ。」の普及に協力してください。

○ 若手教員赴任について

7月1日付で、人間総合科学研究科の野口恵美子先生が准教授として、赴任されました。

○ 赤平・鈴木副学長との打ち合わせが行われました

6月8日(月)16:00より、赤平・鈴木副学長と「プログラム終了後のテニユア・トラック制」について打ち合わせが行われました。若手関係者は、白岩代表、澁谷部門長、大根田部門長、支援室より岩佐、研究推進部より浅野課長補佐、戦略イニシアティブの松崎係長が出席されました。

○ 戦略イニシアティブ(S)報告会が行われました

6月9日(火)11:00より、戦略イニシアティブ(S)報告会が行われました。平成20年度の若手イニシアティブの活動等の報告を白岩代表、澁谷部門長、大根田部門長が行いました。

○ 中間評価について

6月19日(金)に、中間評価書類をJSTに提出いたしました。

○ 採択大学間連絡会について

6月30日(火)に、JSTホールにて採択大学間連絡会が開催されました。筑波大学から、赤平副学長、白岩代表、浅野課長補佐、大貫係長、松崎係長、岩佐(支援室)が出席され、他大学との意見交換が行われました。

Wakate News Letter vol12 [平成21年7月号]

編集・発行: 若手研究者運営調整委員会

*当ニュース・レターは、毎月1回定例会後に配信いたします。

連絡先: 若手支援室

担当 古堅 furugen.hisako.gt@un.tsukuba.ac.jp